

ポータブル ブルーレイディスク™/ DVD プレーヤー

取扱説明書

準備する

再生する

テレビを見る

設定を変更する

困ったときは

その他

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。





警告

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

2~5ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。6ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACアダプターや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においが
したら、
煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグを
コンセントから
抜く
- ③ お買い上げ店ま
たはソニーサー
ビス窓口に修理
を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

△警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

△注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指のケガに
注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコン
セントから抜く

！警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと
火災・感電により死亡や大けがの
原因となります。

運転中は使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンを使用したり、ディスクを再生したり、液晶画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。また、運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。



禁止

分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。特に、本機に使われているレーザー光が目に当たると危険です。

→ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
 - 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
 - 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
 - 熟器具に近づけない。加熱しない。
 - 移動させるときは、電源プラグを抜く。
 - 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。



禁止

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のある場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機やACアダプターの上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機やACアダプターを水滴のかかる場所に置かないでください。

→ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

付属以外のACアダプターやカーアダプターを使わない

火災や感電の原因となります。



禁止

本体やACアダプター、カーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止

雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない

感電の原因となります。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

miniB-CASカードは乳幼児の手の届かない所に置く

誤って飲み込むと、体に悪影響を及ぼすことがあります。

→ 万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。



禁止

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。



禁止

本機を廃棄する場合は、一般ごみに混せて捨てない

本機はリチウムイオン電池を内蔵していますので、ゴミ収集作業などで衝撃や圧力が加わり、漏液、発熱、発火、破裂などの危険があります。不要になった場合は、ソニーサービス窓口にご相談のうえ、リサイクルにご協力ください。廃棄する場合は、地方自治体の条例などに従ってください。



禁止

⚠ 注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

通電中、本体や AC アダプター、カーアダプターに長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

液晶画面に強い力や衝撃を与えない

液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れけがの原因となることがあります。



禁止

本体に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。



禁止

液晶画面を長時間つづけて見ない

液晶画面を長時間続けて見ると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。液晶画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。

→ 万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。



禁止

大音量で長時間続けて聞くかない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

→ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。



禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。



禁止

乳幼児の手の届かない場所に置くディスクぶたを閉じるときなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



指のけがに注意

回転しているディスクにはさわらない

ディスクぶたを開けると、ディスクが回転していることがあります。回転しているディスクにさわると、けがの原因となることがあります。



禁止

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。



禁止

長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま、お手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

移動させるとときは本体を両手で持つ

カバーのみやアンテナのみをつかんで持ち上げたり、運んだりしないでください。落下して、けがの原因となることがあります。また、故障の原因となることがあります。



指示

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

内蔵バッテリーやリモコン用電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



接触禁止



指示



禁止

リモコン用電池は充電しない

破裂したり、液が漏れたりして、けがやけどの原因となることがあります。



禁止



禁止

火の中に入れない、加熱・分解・改造しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがやけどの原因となることがあります。



禁止



指示

⚠ 警告

火のそばや直射日光のあるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない

破裂したり、液が漏れたりして、けがやけどの原因となることがあります。



禁止



指示

リモコン用電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

- 万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。



禁止

⚠ 注意

指定以外のリモコン用電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがやけどの原因となることがあります。



禁止

使い切ったときや、長期間使用しないときは、リモコン用電池を取りはずす

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがやけどの原因となることがあります。



指示

リモコン用電池は+とーの向きを正しく入れる

+とーを逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがやけどの原因となることがあります。



指示

リモコンの電池フタを開けて使用しない

リモコンのフタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。



指示

使用上のご注意

ACアダプターはコンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、異常なにおい、煙が出たときはすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。

通常、本体の電源スイッチで電源を切つただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機の取り扱いについて

- ディスクテーブルのレンズには指を触れないでください。また、ほこりがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。
- ほこりや、たばこの煙が多い場所では使用しないでください。ほこりや、たばこのヤニが本体内部の部品（レンズなど）に付いて、故障の原因となります。
- ディスクぶたを開けたときに、ディスクがまだ回転しているときは、ディスクの回転が停止してから、ディスクを取り出してください。
- 落としたり重いものを乗せたりしないでください。本機に強いショックを与えたとき、圧力をかけたりしないでください。ディスクに傷がついたり、本機の故障の原因となることがあります。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所。
 - 直射日光下で窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
 - 本棚のような狭い所。
 - 電子レンジや大音量スピーカーなど磁気の強いものから近い所。
 - ほこりの多い所。
 - ぐらついた台の上や傾いた所。

－振動の多い所。

－風呂場など、湿気の多い所。

磁気の漏洩に関するご注意

本機はカバーを閉じるために磁石を使用しています。この付近に磁気を利用したカード類を近づけると、カードの磁気が変化して使えなくなることがあります。

心臓ペースメーカーにも影響を与える可能性があります。

結露（露つき）について

結露とは空気中の水分が冷えた金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、本機の液晶画面や内部に結露が起こることがあります。

結露が起きた場合、液晶画面をティッシュペーパー等でよく拭き、結露がなくなるまで、そのまま約30分（本機が室温に温まるまで）放置してください。結露があるときにご使用になると、故障の原因になります。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

本機のメニュー画面などの静止画を液晶画面やテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。

液晶画面について

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術でつくられていますが、黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。
- 液晶画面に物を載せたり、落としたりしないでください。また手やひじをついて体重をかけないでください。
- 液晶画面の表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。

カバーについて

- ・本機のカバーは着脱式ではありません。カバー内にはアンテナが内蔵されていますので、無理に取りはずさないでください。故障の原因になります。
- ・カバーを強く引っ張ったり、無理な方向に折り曲げたりしないでください。
- ・使用状況により、カバーの色がまれに衣類等に色移りすることがありますので、ご注意ください。

内蔵バッテリーについて

- ・バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間の経過によってバッテリーの容量は少しづつ低下します。使用できる時間が通常の半分くらいになつたときは、寿命と思われます。ソニーの相談窓口（裏表紙）へお問い合わせください。
- ・寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。
- ・本機を長期間使わない場合、電池の劣化を防ぐため、半年から1年ごとに充電するようにしてください。

ACアダプターやカーライブアダプターについて

- ・付属以外のアダプターを使用しないでください。故障の原因となります。
- ・アダプターを分解または改造しないでください。
- ・アダプターの金属部分に触れないでください。特に金属物で触るとショートしてアダプターが損傷することがあります。

ホイップアンテナについて

- ・アンテナの損傷を防ぐため、以下の点にご注意ください。
—本機をカバンなどの中にいれる場合は、アンテナを所定の位置に戻してください。

—アンテナに無理に力を加えたり、故意に取りはずしたりしないでください。

- ・アンテナ使用時はアンテナに顔を近づけないようにご注意ください。また使用後はアンテナをもとに戻してください。

本機を海外へお持ちになるときは

付属のACアダプターは100～240Vの電源電圧に対応しています。コンセントの形にあつたACプラグアダプターをご用意いただければ、海外でも使用できます（テレビは国内専用ですので、海外では視聴できません）。なお、電子式変圧器（トラベルコンバーター）は故障の原因となるので使わないでください。

再生を開始するときは

音量を必ず下げておきましょう。初めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損させたり、ヘッドホンで聞いている場合には耳を傷めるおそれがあります。

映画や音楽を楽しむときは

映画や音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

本体のお手入れについて

- ・本体の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナー やベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。
- ・カバーの汚れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー やベンジン、アルコール、固い材質のブラシやたわし類は使わないでください。

- 液晶画面は、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れてきたと思ったら、こまめに拭くように心がけてください。濡れたもので液晶画面を拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- 画像が乱れたり、音飛びがするときは、レンズにゴミやほこりがたまっている場合があります。このときは、市販のカメラレンズ用のプロワーブラシで、レンズのクリーニングをしてください。クリーニングをするときは、レンズに直接触れないようご注意ください。

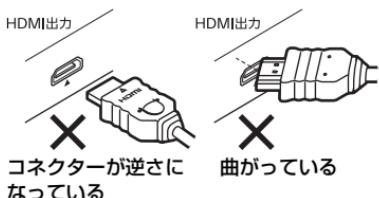
クリーニングディスクについて

レンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

HDMI 出力端子につなぐときのご注意

次のような場合、HDMI 出力端子やコネクターを破損させるおそれがありますのでご注意ください。

- ケーブルを差し込むときは、本体側面の HDMI 出力端子とコネクターの形や向きに注意してください。



- 本機を移動させるときは、必ず HDMI ケーブルを抜いてください。



- HDMI ケーブルを抜き差しするときは、コネクターをまっすぐ持ってください。コ

ネクターをねじ曲げたり、HDMI 出力端子に強く押しこんだりしないでください。

3D 映像の視聴について

本機を 3D 対応のテレビなどに接続すると 3D 映像を視聴することができます。

3D 映像の視聴中に目の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D 映像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまで 3D 映像の視聴をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。本機に接続する機器や本機で再生するブルーレイディスクの取扱説明書やご注意文などもあわせてご覧ください。最新情報については、ホームページ (<http://www.sony.jp/support/>) をご覧ください。

なお、お子さま（特に 6 歳未満の子）の視覚は発達段階にあります。お子さまが 3D 映像を視聴する前に、小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人のかたは、お子さまが上記注意点を守るよう監督してください。

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

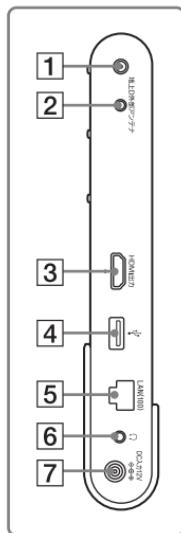
目次

安全のために	2
使用上のご注意	6
各部の名前	10
スタンドを立てる	14
<hr/>	
準備する	
付属品を確認する	15
miniB-CAS カードを入れる	15
充電する	16
カーライフアダプターを使う	17
ネットワークにつなぐ	18
テレビなどにつなぐ	19
<hr/>	
再生する	
ディスクを再生する	20
USB 機器を再生する	22
さまざまなオプション	23
<hr/>	
テレビを見る	
かんたん設定をする	25
見たいチャンネルを選ぶ	27
チャンネル設定を修正する	29
テレビの設定を変更する	30
本体設定	31
視聴設定	31
放送受信設定	32
<hr/>	
設定を変更する	
本機の設定を変更する	33
ネットワークアップデート	33
映像設定	34
音声設定	35
BD/DVD 視聴設定	37
視聴年齢制限設定	37
本体設定	38
通信設定	39
設定初期化	39
<hr/>	
困ったときは	
故障かな?と思ったら	40
<hr/>	
その他	
主な仕様	45
保証書とアフターサービス	51
本機を廃棄するときのご注意	52
索引	53

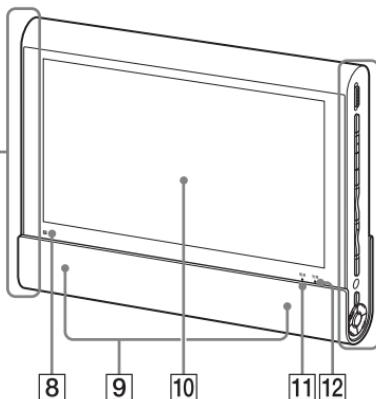
各部の名前

本体

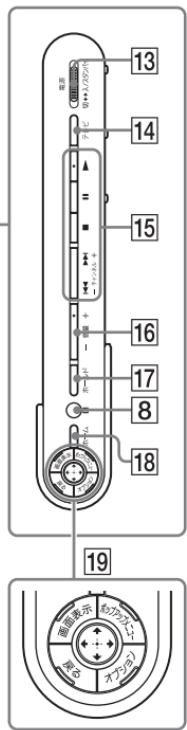
端子面



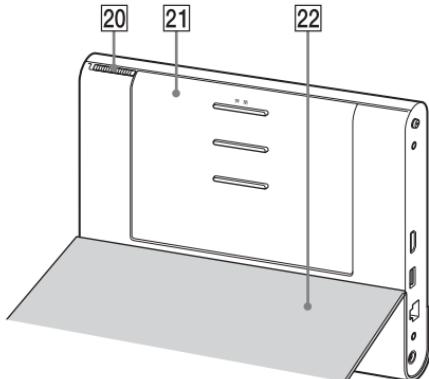
液晶面



ボタン面



ディスク面



ちょっと一言

► (再生) ボタンと音量+ボタンには凸(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

ご注意

利用できる機能は、ディスクや使用状況によって異なります。

① ホイップアンテナ (25 ページ)

② 地上 D 外部アンテナ端子 (28 ページ)

Φ3.5 mm ミニプラグのプラグ整合器をつなぎ、外部アンテナにつなぎます。

③ HDMI 出力端子

テレビやモニターなどにつなぎます。

④ ▷(USB) 端子

USB 機器につなぎます。

⑤ LAN(100) 端子

BD-LIVE™ やネットワークアップデーターのときにつなぎます。

⑥ Ⓜ(ヘッドホン) 端子

ステレオミニプラグのヘッドホンにつなぎます。

⑦ DC 入力 12V 端子

AC アダプターやカーアダプターにつなぎます。

⑧ リモコン受光部

⑨ スピーカー

⑩ 液晶画面

⑪ 電源ランプ

電源を入れると点灯します。

⑫ 充電ランプ

充電中に点灯します。

バッテリーが消耗すると点滅します。

⑬ 電源スイッチ

• 入/スタンバイの方向へスライドすると、本機の電源を入れる、またはスタンバイ状態にします。スタンバイ状態では、リモコンの電源ボタンで本機の電源を入れることができます。

• 切の方向へ設定すると、主電源が切れます。リモコンにも反応しなくなります。使わないとときのバッテリー消費を防ぐことができます。

⑭ テレビ (25 ページ)

テレビに切り替えます。

⑮ ► (再生)

再生します。

■ (一時停止)

一時停止または再生を再開します。

■ (停止)

再生を停止します。

ディスクの種類によっては、停止した位置を記憶します(つづき再生)。

- ◀◀/▶▶ (前／次) および
チャンネルー／+**
- 前または次のチャプター／ト ラック／ファイルの先頭に進み ます。
 - 本体のボタンのみに以下の機能 があります。
 - 再生中に1秒以上押すと、早 戻し再生または早送り再生に なります。軽く押すたびに速 度が切り換わります。
 - 一時停止中に1秒以上押すと、 スロー再生になります。
 - テレビ視聴中はチャンネルを切 り替えます。

⑯ 音量+／-

音量を調節します。

⑰ ホールド

2秒以上押すと、本体のボタン操 作を無効にすることができます。 リモコンでの操作はできます。

⑯ ホーム (14ページ)

ホームメニューを表示します。 テレビ視聴から、ディスクや USB の再生に切り換えるときに押してください。

⑲ 画面表示 (22、28ページ)

その時の画面に合わせて情報を表 示または閉じます。

ポップアップ／メニュー

- BD-ROM のポップアップメ ニューや DVD のメニューを表 示または閉じます。
- テレビ視聴中はチャンネル一覧 を表示または閉じます (27ペー ジ)。

オプション (23、30ページ)

表示画面で使用できるオプション 機能を画面に表示または閉じま す。

戻る

ひとつ前の画面に戻ります。

←/↑/↓/→

- 上下左右に動かして項目を選び ます。
- テレビ視聴中は↑/↓でチャンネ ルを切り替えます。

本体ボタンの↑(上)のみ少し浮 き出ています。操作の目印として お使いください。

-・(決定)

選んだ項目を決定します。

本体ボタンは、-・と←/↑/↓/→ が1つのボタンです。まっすぐに 押すと決定となります。

⑳ 開スイッチ

ディスクぶたが開きます。

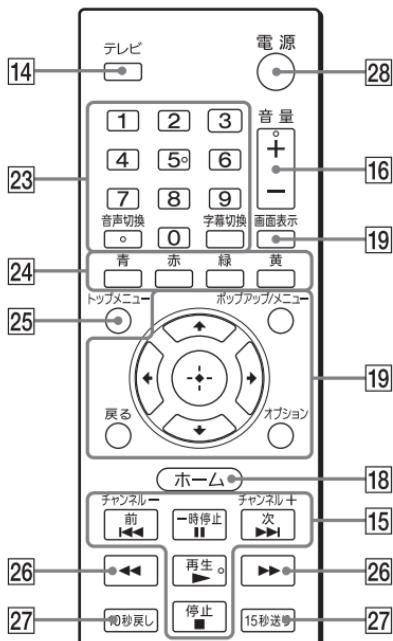
㉑ ディスクぶた

「押閉」の部分を押してディスク ぶたを閉じます。

㉒ カバー

閉じているときは液晶画面を保護 し、開いているときはスタンドに なります (14ページ)。また、ア ンテナを内蔵しています。

リモコン



ちょっと一言

数字ボタン「5」、音声切換ボタン、音量+ボタン、および▶ (再生) ボタンには凸 (突起) がついています。操作の目印としてお使いください。

23 数字ボタン (0 ~ 9)

タイトル／チャプター番号などを入力します。

テレビ視聴中はチャンネルを切り替えます。

音声切換

視聴している BD-ROM や DVD ビデオにセリフが複数の言語で録音されている場合、言語を選べます。

CD では音声トラックを選べます。
テレビ視聴中も音声を選べます。

字幕切換

視聴している BD-ROM や DVD ビデオに字幕が複数の言語で記録されている場合、言語を選べます。

テレビ視聴中は字幕を表示するかしないかを選べます。

24 カラーボタン (青／赤／緑／黄)

各種メニューへショートカットできます。

25 トップメニュー

BD や DVD のトップメニューを表示または閉じます。

26 ◀◀/▶▶ (早戻し／早送り)

- 再生中に押すと、早送り再生または早戻し再生します。ビデオ再生中は、押すたびに速さが切り換わります。

- 一時停止中に 1 秒以上押すと、スロー再生します。

- 一時停止中に軽く押すと、コマ送り再生します。

27 10秒戻し／15秒送り

10秒前に戻る、または 15 秒先に進みます。

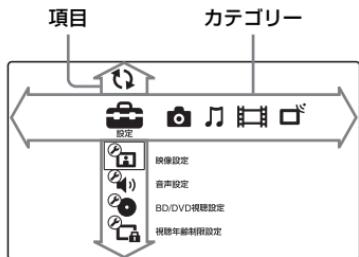
28 電源

本機の電源を入れる、またはスタンバイ状態にします。

[14]、[15]、[16]、[18]、[19] については、11 ~ 12 ページをご覧ください。

ホームメニュー画面

ホームボタンを押すと、ホームメニューが表示されます。
←/→でカテゴリーを選んでください。↑/↓で項目を選び、→(決定)を押してください。

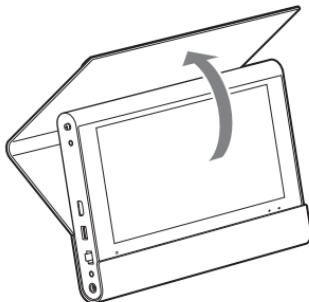


- (設定)：本機の設定を変更します。
- (フォト)：写真を再生します。
- ♪ (ミュージック)：音楽を再生します。
- (ビデオ)：映像を再生します。
- (テレビ)：テレビ放送を受信します。

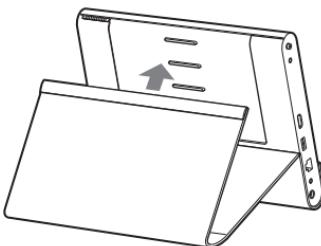
スタンドを立てる

本機のカバーをスタンドとして使うことができます。

- 1 本機の下部を片手でしっかりと持ち、カバーを開く。



- 2 ディスクぶたの突起にカバーのふちを引っかけて立たせる。



- 3 3つの突起のうちのどれかを選び、お好みの角度になるように調節してください。

ご注意

- カバーを開くときはカバーのみをつかまことに、必ず本体を持ってください。
- スタンドを立てるまでは不安定ですので、本機を落とさないようご注意ください。

準備する

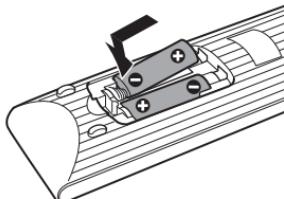
付属品を確認する

次の付属品がそろっているか確認してください。

- miniB-CAS カード（1枚）と使用許諾契約約款（1部）（miniB-CAS カードは使用許諾契約約款の裏面に貼り付けてあります。）
- AC アダプター（1個）
- カー アダプター（1個）
- リモコン（1個）
- 単3形（R6）乾電池（2個）
- 保証書（1部）

リモコンを準備する

リモコンに単3形（R6）乾電池を2個入れます。⊕と⊖の向きをリモコンの表示に合わせてください。

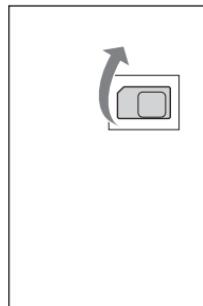


miniB-CAS カードを入れる

番組の著作権保護のため、高画質な地上デジタル放送は、miniB-CAS カードを挿入していないと視聴することができます。

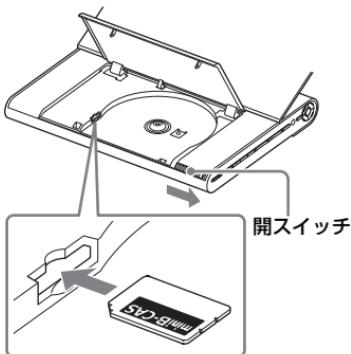
1 miniB-CAS カードを取り出す。

本書が入っている袋に同封の「B-CAS カード使用許諾契約約款」の内容を読み、了解されたうえで、台紙から miniB-CAS カードをはがしてください。



2 本機のカバーを開き、液晶画面を下にして置く。

- 3** 開スイッチを矢印の方向にスライドさせてディスクぶたを開き、miniB-CASカードを入れる。

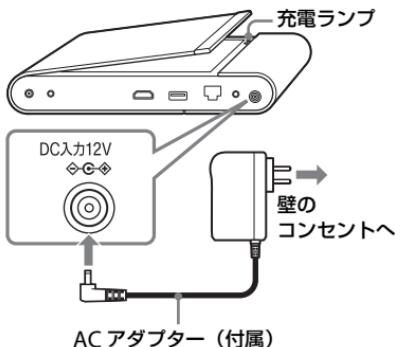


角がカットされた部分を左下にして、カチッと音がするまで押し込んでください。

充電する

本機をはじめて使用するときや、バッテリーが消耗したときには、充電してください。

ACアダプターを本機につなぐ。充電が始まると充電ランプが点灯します。充電が終わると充電ランプが消灯します。



ちょっと一言

充電するときは電源を切ってください。ディスクを再生しながら充電することもできますが、充電時間は長くかかります。また、テレビを視聴しながら充電することはできません。

ご注意

充電は周囲の温度が5℃～35℃の環境で行ってください。

充電時間と使用時間

充電時間：約 5 時間

ディスク再生時間：約 5 時間

テレビ視聴時間：約 5.5 時間

以下の条件での最長連続使用時間の目安です。

- 充電時間

- 常温 (20 °C)

- 電源オフ

- 使用時間

- 常温 (20 °C)

- ヘッドホン使用

- バックライトの調整を最小に設定
周囲の温度やバッテリーの状態により、充電時間が長くなったり、使用時間が短くなることがあります。

バッテリーの残量を確認するには

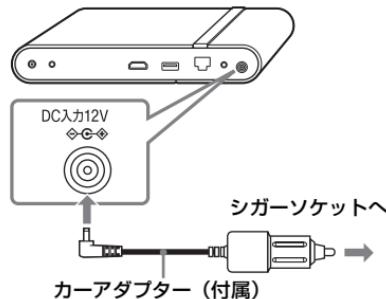
AC アダプターを取りはずしてください。さらに、再生中やテレビ視聴中は画面表示ボタンを押してください。バッテリーマークが表示されます。バッテリーが消耗すると、「□」が表示されるか、充電ランプが点滅します。



カーアダプターを使う

付属のカーアダプターは、12 V マイナスアース車専用です (24 V およびプラスアース車では使えません)。

カーアダプターをつなぐ。



車内での使用後は

シガーソケットからカーアダプターを抜いてください。

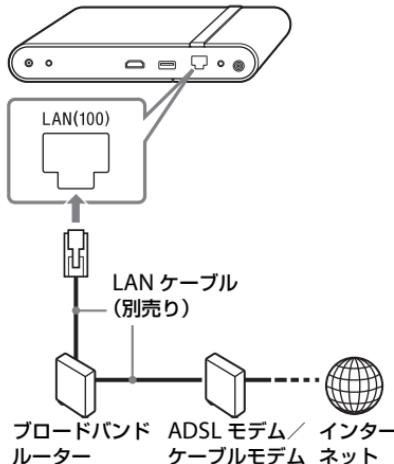
ご注意

- 運転者は、運転中にカーアダプターをつないだり抜いたりしないでください。
- 運転者の邪魔にならないようにコードを配置してください。また運転者から見える位置に液晶画面を設置しないでください。
- シガーソケットは清掃してから使用してください。汚れていると、接続不良や故障の原因となる場合があります。
- カーアダプターをつないで本機を使用する場合は、自動車のエンジンをかけた状態で使用してください。自動車のエンジンを止めた状態で使用すると、自動車のバッテリーが放電してしまう場合があります。
- 自動車内に本機や付属品を置いたままにしないでください。

ネットワークにつなぐ

LAN ケーブルを LAN(100) 端子につなぎ、本機をインターネットにつなぎます。

BD-LIVE™ を楽しんだり、ネットワークアップデートを行ったりできます。



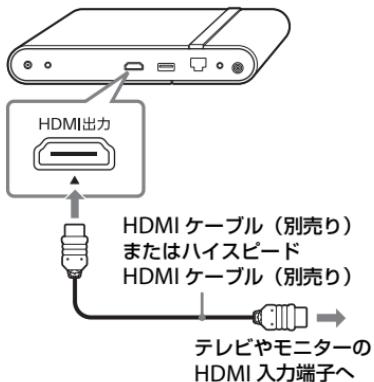
ネットワークの設定をするには

[通信設定] の [ネットワーク設定] で [有線 LAN 設定] を選び (39 ページ)、画面の指示にしたがって設定してください。

テレビなどにつなぐ

本機をテレビやモニターにつないで、さらに映像を楽しめます。

1 本機とテレビやモニターを HDMI ケーブルを使ってつなぐ。



2 本機の電源を入れる。

ちょっと一言

HDMI ケーブルをつないだときのリモコンでの操作は、ボタン面にあるリモコン受光部に向けて操作してください。



ご注意

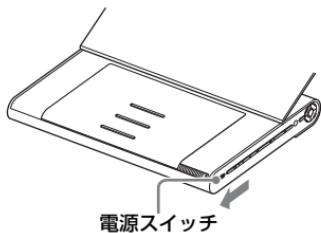
- つなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機の電源を切ってから、つないでください。
- HDMI ケーブルをつなぐと、本体の液晶画面／スピーカーおよびヘッドホンから映像・音声は出力されません。
- 3D 映像を楽しみたいときは、ハイスピード HDMI ケーブルで 3D 対応のテレビなどにつないでください。

再生する

ディスクを再生する

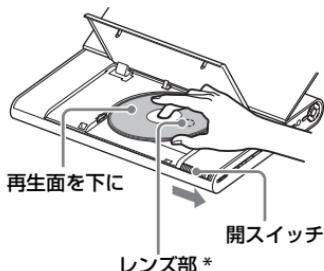
再生できるディスクについては、「再生できるディスク」(46ページ)をご覧ください。

- 1 カバーを開き液晶画面を下にし
て置いて、電源を入れる。
本体の電源スイッチを入／スタ
ンバイの方向にスライドしてく
ださい。



電源スイッチ

- 2 開スイッチを矢印の方向にスラ
イドさせてディスクぶたを開
き、ディスクをはめ込む。
再生したい面を下にして、力
チックと音がするまではめ込みま
す。



* レンズ部には触れないよう、ご注
意ください。

- 3 ディスクぶたを閉じる。

再生が始まります。

再生が自動的に始まらない場合
は、 (ビデオ)、 (ミュージック)、または (フォト) で●を
選び、-+ (決定) を押してください。

ちょっと一言

- テレビ視聴から、すでに入っているディ
スクの再生に切り換えるときは、ホー
ムボタンを押してください。
- 早送り再生やスロー再生もできます
(12、13ページ)。

ご注意

液晶画面の表面に傷がつかないよう、平ら
な台の上で作業を行ってください。

BONUSVIEW™ (ボーナスビュー) や BD-LIVE™ (BD ライブ) を楽しむ

BD-LIVE ロゴ*が記載された BD-ROM には、スペシャルコンテンツ (BONUSVIEW) や、ネットワークからダウンロードして楽しむコンテンツ (BD-LIVE) などが用意されているものがあります。

*  BD-LIVE™

1 USB メモリーを USB 端子に差し込む (11 ページ)。

容量 1 GB 以上の USB メモリーをローカルストレージとして使用してください。

2 BD-LIVE の準備をする (BD-LIVE のみ)。

- 本機をネットワークにつないでください (18 ページ)。
- [BD インターネット接続] を [許可する] に設定してください (37 ページ)。

3 BONUSVIEW (ボーナスビュー) や BD-LIVE (BD ライブ) 対応の BD-ROM を入れる。

操作方法はディスクによって異なります。ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

USB メモリー内のデータを消去するには、
 (ビデオ) で [BD データ消去] を選び、-・- (決定) を押してください。buda

フォルダー内のすべてのデータが消去されます。

Blu-ray 3D™ を楽しむ

Blu-ray 3D ロゴ*が記載された Blu-ray 3D ディスクを再生できます。

*  Blu-ray 3D™

1 Blu-ray 3D ディスクを再生する準備をする。

- 本機をハイスピード HDMI ケーブルで 3D 対応のテレビなどにつないでください。
- [映像設定] の [3D 出力設定] と [3D テレビ画面サイズ設定] を設定してください (34 ページ)。

2 Blu-ray 3D ディスクを入れる。

操作方法はディスクによって異なります。ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

お使いのテレビや接続機器の取扱説明書もご覧ください。

ご注意

本機の液晶画面は 3D 対応ではありませんので、3D を楽しむときは必ず 3D 対応のテレビなどにつないでください。

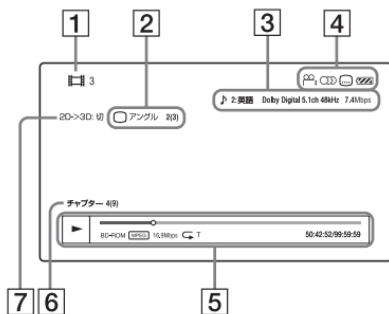
再
生
す
る

再生情報を表示する

画面表示ボタンを押すと、再生情報などを確認できます。

ディスクの種類や本機の状態によって、表示される情報は異なります。

例：BD-ROM の場合



- ① タイトル番号またはタイトル名
- ② 画面アングル
- ③ 音声設定
- ④ 使用可能な機能（ アングル／ 音声／ 字幕／ バッテリー残量）
- ⑤ 再生モード／再生位置表示バー／ディスクの種類／ビデオコードック／ビットレート／リピート設定の種類／経過時間／総時間
- ⑥ チャプター番号
- ⑦ シミュレーテッド 3D 表示

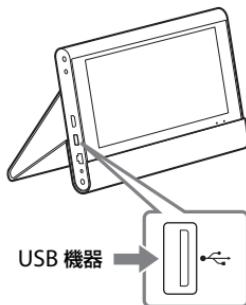
USB 機器を再生する

USB 機器内のビデオ、音楽、写真を再生できます。

再生できる USB 機器については、「再生できるファイルの種類」(47 ページ) をご覧ください。

1 USB 機器を USB 端子につなぐ。

つなぐ前に USB 機器の取扱説明書をご覧ください。



2 / を押して、ホームメニューの (ビデオ)、 (ミュージック)、または (フォト) を選ぶ。

ホームメニューが表示されていない場合は、ホームボタンを押してください。

3 / を押して (USB 機器) を選び、 (決定) を押す。

さまざまなオプション

オプションボタンを押すと、さまざまな設定や再生中の操作ができます。表示されるオプションは、使用状況によって異なります。

共通オプション

項目	できること
画面モード (本機の液晶 画面)	<ul style="list-style-type: none">• 画面サイズ：画面のサイズを変更します。[ノーマル]、[フル]、または[ズーム]を選びます。• バックライト：画面の明るさを調整します。• コントラスト：画面の明暗を調整します。• 色あい：画面の赤と緑のバランスを調整します。• 色の濃さ：画面の色の濃さを調整します。• 初期値：各設定値を工場出荷時の値に戻します。
サウンド 設定	<ul style="list-style-type: none">• スタンダード：標準的な音の設定です。• ダイナミック：迫力のある音になります。• ダイナミックサラウンド：広がり感のある音になります。• クリアボイス：台詞などが聞きやすくなります。
リピート設定	リピートモードを設定します。

再生する

■(ビデオ)のみ

項目	できること
3D 出力設定	3D 映像を自動で出力するか設定します。
画音同期調整	映像と音声とのズレを補正します。音声出力を映像出力より遅らせます(0~120ミリ秒)。
再生一時停止	再生を一時停止します。
トップメニュー	BD や DVD のトップメニューを表示します。
メニュー／ポップアップ	BD-ROM のポップアップメニューや DVD のメニューを表示します。
タイトルサーチ	BD-ROM や DVD ビデオのタイトルを検索し、先頭から再生します。
チャプター サーチ	チャプターを検索し、先頭から再生します。
音声切換	BD-ROM や DVD ビデオにセリフが複数の言語で録音されている場合、言語を切り替えます。
字幕切換	BD-ROM や DVD ビデオに字幕が複数の言語で記録されている場合、言語を切り替えます。
映像切換	BD-ROM や DVD ビデオに他のアングルからの映像が記録されている場合、映像を切り替えます。

♪(ミュージック)のみ

項目	できること
スライド	USB メモリー内の音楽ファイルを、スライドショーの BGM に登録します。
ショーの BGM 登録	
スライド	スライドショーの速さを設定します。
ショーの効果	スライドショーの表示方法を設定します。
スライド BGM	• 切：BGM を設定しません。 • My Music (USB)：[スライドショーの BGM 登録] で登録した音楽ファイルを BGM に設定します。 • 音楽 CD から再生：CD-DA のトラックを BGM に設定します。
スライド ショー	スライドショーを再生します。
回転（左）	写真を左回りに 90 度回転させます。
回転（右）	写真を右回りに 90 度回転させます。

テレビを見る

かんたん設定をする

お買い上げ後、初めてテレビをご覧になるときは、miniB-CAS カードを挿入し（15 ページ）、チャンネルを設定してください。

ご注意

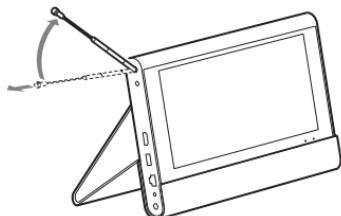
番組の著作権保護のため、高画質な地上デジタル放送は miniB-CAS カードを挿入していないと視聴することができません。

1 ディスクぶたを開き、miniB-CAS カードが入っていることを確認する。

入っていないときは、miniB-CAS カードを入れてください（15 ページ）。

2 スタンドを立て、ホイップアンテナをのばして立てる。

ホイップアンテナは力チッと音がするまでのばしてください。カバーにアンテナが内蔵されているため、スタンドを立ててください（14 ページ）。



3 電源を入れ、テレビボタンを押す。



テレビに切り換わり、かんたん設定の画面が表示されます。

4 → を押す。

地域一覧が表示されます。

5 ↑↓ で、お使いになる地域を選び、→(決定) を押す。

6 ↓ で【次へ】を選び、→(決定) を押す。

チャンネルスキャンが始まります。受信状態によってスキャンに時間がかかることがあります。

7 【保存】が表示されたら、→(決定) を押す。

受信したチャンネルがチャンネル一覧に設定されます。

ちょっと一言

- 【受信できません】と表示されたときは、場所や本体の向き、アンテナの向きを変えてみてください。それでもうまく受信できないときは、アンテナ線をつないでください（28 ページ）。
- ホームボタンを押して、ホームメニューの テレビから 地デジ を選んでも、テレビに切り換えることができます。

- テレビ視聴から、ディスクや USB の再生に切り換えるときは、ホームボタンを押してください。
- テレビ視聴中にディスクが開け閉めすると、ディスクを再生する準備に入るため、自動的にホームメニューが表示されます。

ご注意

- CATVをご利用の場合、本機は同一周波数バススルー方式のみに対応しています。トランスモジュレーション方式や周波数変換バススルー方式には対応していません。CATVの方式については、CATV局や、マンション管理会社などの共同受信システム管理者へお問い合わせください。
- 本機はBS/110度CS放送には対応していません。
- 本機はデータ放送には対応していません。
- 緊急警報放送による自動起動には対応していません。

放送サービスに関するお問い合わせ

受信地域（エリア）や受信方法などのデジタル放送全般について

(社) デジタル放送推進協会 (Dpa)

ホームページ：

<http://www.dpa.or.jp/>

地上デジタル放送の受信相談について

総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター

電話番号：0570-07-0101

受付時間：平日 9:00～21:00

土・日・祝日

9:00～18:00

miniB-CAS カードについて

B-CAS カスタマーセンター

電話番号：0570-000-250

受付時間：10:00～20:00

(年中無休)

見たいチャンネルを選ぶ

本機では、高画質な地上デジタル放送と携帯端末用のワンセグ放送を視聴することができます。受信状態によって、地上デジタル放送とワンセグ放送を自動で切り替えます。

- 1 電源を入れ、スタンドを立ててホイップアンテナをのばし、向きを調整する。**
テレビになっていないときは、テレビボタンを押してください。
- 2 チャンネル+/-ボタンを押し、見たいチャンネルを選ぶ。**

ちょっと一言

↑/↓ やリモコンの数字ボタンでもチャンネルを切り換えられます。リモコンの数字ボタンで「10」、「11」、「12」を選びたいときは、リモコンの数字ボタンを順番に押してください。

例：「10」を選ぶときは、「1」、「0」を順番に押します。

受信状態がよくないときは

- ・[受信できません] が表示される。
- ・画面が止まる。
- ・音声が途切れ途切れに聞こえる。
- ・何も表示されない。

このような場合、本体の向きやアンテナの向きを変えたり、場所を移動したりするとうまく受信できることがあります。

それでもうまく受信できないときは、アンテナ線をつないでください（28ページ）。

チャンネル一覧から選ぶ

- 1 ポップアップ／メニューボタンを押す。**
設定されているチャンネル一覧が表示されます。
- 2 ↑/↓ で見たいチャンネルを選び、→(決定) を押す。**

ちょっと一言

チャンネル一覧にはメインチャンネル（例：チャンネル番号 011）のみを表示します。サブチャンネル（例：チャンネル番号 012）を選びたいときは、チャンネル+/-ボタンまたは↑/↓でチャンネルを選んでください。

チャンネル一覧と受信切換について

チャンネル一覧と受信切換は連動して切り換わります。

ポップアップ／メニューボタンを押すと、受信切換（30 ページ）の設定に合わせたチャンネル一覧が表示されます。←/→ で [自動]、[地デジ]、[ワンセグ] のチャンネル一覧に切り換えることができます。切り換えたチャンネル一覧から見たいチャンネルを選ぶと、受信切換の設定も連動して切り換わります。

テレビの情報を表示する

画面表示ボタンを押すと、受信している放送の情報などを確認できます。画面表示ボタンを1回押すと①～④が表示され、さらにもう1回押すと⑤と⑥が追加表示されます。

例：地上デジタル放送の場合



① チャンネル番号

② 放送局名

③ 現在の日時

④ 受信中の放送の状態とバッテリー残量

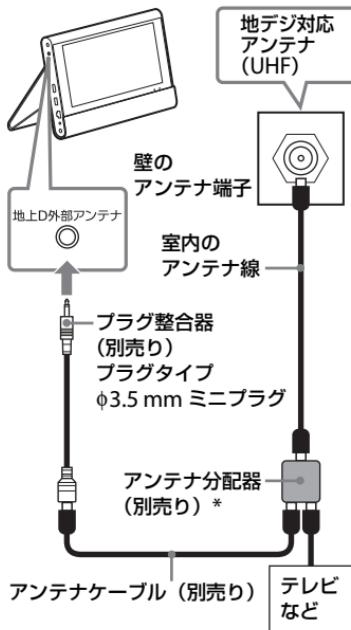
⑤ 放送時間と番組名

⑥ 番組詳細情報

アンテナをつなぐ

室内でのテレビ視聴には、本機とアンテナ線をつなぐことをおすすめします。高画質な地上デジタル放送が安定して視聴できます。

1 本機とアンテナ線をつなぐ。



* 壁のアンテナ端子に空きがあるときは、アンテナ分配器は不要です。

2 本機の電源を入れる。

テレビになつてないときは、テレビボタンを押してください。

3 チャンネル設定を修正する。

オプションボタンを押して、チャンネル設定を修正してください（29ページ）。

チャンネル設定を修正する

設定したチャンネル一覧を修正することができます。

- 1 テレビの視聴中に、オプションボタンを押す。
- 2 \uparrow/\downarrow で [テレビ設定] を選び、- $\cdot\cdot-$ (決定) を押す。
- 3 \uparrow/\downarrow で \blacksquare (放送受信設定) を選び、- $\cdot\cdot-$ (決定) を押す。
放送受信設定の画面が表示されますので、つづけて以降の操作を行ってください。

チャンネルを再設定する (地域スキャン)

移動して場所が変わったときや、アンテナ線をつないで受信状態が変わったときは、チャンネルを再設定してください。

- 1 放送受信設定の画面で、 \uparrow/\downarrow で [地域スキャン] を選び、- $\cdot\cdot-$ (決定) を押す。
- 2 \rightarrow を押し、 \uparrow/\downarrow でお使いになる地域を選び、- $\cdot\cdot-$ (決定) を押す。
- 3 \downarrow で [開始] を選び、- $\cdot\cdot-$ (決定) を押す。
チャンネルスキャンが始まります。

- 4 [保存] が表示されたら、- $\cdot\cdot-$ (決定) を押す。
チャンネル一覧が再設定されます。

チャンネルを再設定する (自動スキャン)

地域を指定せず、すべてのチャンネルをスキャンします。地域の境界近くでご使用のときは、こちらのスキャンをおすすめします。ただし、すべてのチャンネルをスキャンするため、スキャンに時間がかかります。

- 1 放送受信設定の画面で、 \uparrow/\downarrow で [自動スキャン] を選び、- $\cdot\cdot-$ (決定) を押す。
チャンネルスキャンが始まります。
- 2 [保存] が表示されたら、- $\cdot\cdot-$ (決定) を押す。
チャンネル一覧が再設定されます

チャンネルを追加する (手動スキャン)

受信したいチャンネルの物理チャンネル*、または周波数が分かっているときはそのチャンネルを、チャンネル一覧に追加することができます。

* 物理チャンネルとは、放送局ごとに割り当てられている地上デジタル放送のチャンネル(13~62CH)です。

- 1 放送受信設定の画面で、**↑/↓**で【手動スキャン】を選び、**→(決定)**を押す。
- 2 **↑/↓**で設定したい項目を選び、**→**を押す。
チャンネルか周波数のどちらか分かっているほうを選んでください。
- 3 **↑/↓**で追加したいチャンネルを選び、**→(決定)**を押す。
- 4 **↓**で【開始】を選び、**→(決定)**を押す。
- 5 【保存】が表示されたら、**→(決定)**を押す。
新しく受信したチャンネルがチャンネル一覧に追加されます。

チャンネルを削除する

見ないチャンネルをチャンネル一覧から削除することができます。

- 1 放送受信設定の画面で、**↑/↓**で【チャンネル削除】を選び、**→(決定)**を押す。
- 2 **↑/↓**で削除したいチャンネルを選び、**→(決定)**を押す。
- 3 **←/→**で【はい】を選び、**→(決定)**を押す。
選んだチャンネルがチャンネル一覧から削除されます。

ご注意

メインチャンネルを削除すると、サブチャンネルやワンセグも削除されます。

テレビの設定を変更する

テレビの設定を変更したいときは、テレビの視聴中に、オプションボタンを押してください。

お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

- 1 テレビの視聴中に、オプションボタンを押す。
- 2 **↑/↓**で設定したい項目を選び、**→(決定)**を押す。

項目	できること
画面モード (本機の液晶画面)	本機の液晶画面の明るさや色合いなどを調整します（23ページ）。
テレビ設定	<input checked="" type="checkbox"/> 本体設定（31ページ） <input checked="" type="checkbox"/> 視聴設定（31ページ） <input checked="" type="checkbox"/> 放送受信設定（32ページ）
受信切換	•自動：受信状態に応じて自動的に地デジとワンセグを切り替えます。 •地デジ：地デジのみを受信します。 •ワンセグ：ワンセグのみを受信します。
番組表	視聴しているチャンネルの、その日の番組表を表示します。
字幕切換	字幕を切り替えます。
音声切換	音声を切り替えます。

ご注意

- ・番組表の取得に時間がかかる場合があります。
- ・番組表は視聴しているチャンネルの番組表のみを表示します。他のチャンネルの番組表は表示されません。
- ・地デジの番組表はその日の番組表に続けて次の日の番組を最大5つまで表示します。
- ・ワンセグの番組表は最大10番組先までしか送信されていないため、それ以降の番組表は表示できません。
- ・テレビ視聴中は、[画面モード] の [画面サイズ] は [フル] に固定されています。
- ・受信切換はチャンネル一覧と連動して切り換わります(27ページ)。
- ・[受信切換] を [自動] に設定しているとき、地デジとワンセグの切り換え時に映像と音声が途切れことがあります。

i+ 本体設定**本体情報**

テレビのソフトウェアのバージョンなどを確認できます。

カード情報

miniB-CAS カードを本機から取り出さなくても、カード ID 番号などを確認できます。

設定初期化

[テレビ設定] のすべての項目をお買い上げ時の設定に戻します。設定したチャンネルが消去されますので、ご注意ください。

■ 視聴設定**HDMI 設定**

HDMI 映像解像度：通常は [自動] を選んでください。本機につないだ HDMI 機器の状態に応じて、最適な解像度で出力します。

HDMI 映像出力フォーマット：通常は [自動] を選んでください。本機につないだ HDMI 機器の状態に応じて、最適な映像信号を出力します。

二重音声切換

主音声：主音声に切り換えます。

副音声：副音声に切り換えます。

主+副音声：主音声+副音声に切り
換えます。

音声切換

第一音声：第一音声に切り換えます。

第二音声：第二音声に切り換えます。

字幕切換

第一言語：第一言語に切り換えます。

第二言語：第二言語に切り換えます。

切：字幕を表示しません。

文字スーパー表示

第一言語：第一言語に切り換えます。

第二言語：第二言語に切り換えます。

切：文字スーパーを表示しません。

ご注意

- テレビ視聴のときは、ブラビアリンク（HDMI 機器制御）に対応していません。
- 本機の HDMI 出力端子から出力されたテレビ信号を録画することはできません。
- テレビ視聴中は、ダイナミックサラウンドなどのサウンド設定を選ぶことはできません。
- テレビ視聴のときに HDMI 機器と接続すると、音声は PCM 信号で出力されます。

放送受信設定

自動スキャン

「チャンネルを再設定する（自動ス
キャン）」（29 ページ）をご覧ください。

手動スキャン

「チャンネルを追加する（手動スキャ
ン）」（29 ページ）をご覧ください。

地域スキャン

「チャンネルを再設定する（地域ス
キャン）」（29 ページ）をご覧ください。

チャンネル削除

「チャンネルを削除する」（30 ペー
ジ）をご覧ください。

リモコン設定

リモコンの数字ボタンに設定された地
デジのチャンネルを変更します。

設定を変更する

本機の設定を変更する

本機の設定を変更したいときは、ホームメニューの  (設定) を選んでください。

お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

ちょっと一言

テレビの設定は、この操作では変更できません。「テレビの設定を変更する」(30ページ)をご覧ください。

- 1  を押して、ホームメニューの  (設定) を選ぶ。**
- 2  を押して設定カテゴリーのアイコンを選び、 (決定) を押す。**

アイコン 名称

	ネットワークアップデート (33 ページ)
	映像設定 (34 ページ)
	音声設定 (35 ページ)
	BD/DVD 視聴設定 (37 ページ)
	視聴年齢制限設定 (37 ページ)
	本体設定 (38 ページ)

アイコン 名称



通信設定 (39 ページ)



設定初期化 (39 ページ)

ネットワークアップデート

ネットワークに接続して、本機のソフトウェアを最新の状態にアップデートします。

必ず AC アダプターをつなぎ、ネットワークにつないでください (18 ページ)。メッセージが出ますので、[はい] を選ぶとアップデートを始めます。

ちょっと一言

- 2か月に1回程度を目安にネットワークアップデートを行うことをおすすめします。
- アップデートの情報については、以下のホームページでご確認ください。
<http://www.sony.jp/support/portable-player/>

ご注意

ネットワークアップデートが完了するまで、AC アダプターを取りはずさないでください。

映像設定

3D 出力設定

自動：通常はこの設定にしてください。

切：すべての映像を 2D で表示するとき、この設定を選んでください。

3D テレビ画面サイズ設定

お使いの 3D 対応テレビの画面サイズを設定します。

テレビタイプ

16:9：ワイドテレビまたはワイドモード機能が搭載されているテレビとつなぐとき、この設定を選んでください。

4:3：画面サイズが 4:3 でワイドモード機能が搭載されていないテレビとつなぐとき、この設定を選んでください。

画面モード

フル：ワイドモード機能が搭載されているテレビとつなぐとき、この設定を選んでください。ワイドテレビでも 4:3 映像を常に 16:9 で表示します。

ノーマル：映像の横縦比は維持したまま、映像サイズをテレビの画面サイズに合わせて変更します。

DVD ワイド映像表示

レターボックス：ワイド映像を横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示します。



パンスキヤン：ワイド映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示します。



シネマ変換モード

自動：通常はこの設定にしてください。ビデオ素材とフィルム素材の違いを本機が検出し、自動で素材に合わせた変換方法に切り換えます。

ビデオ：記録されている映像素材にかかわらず、常にビデオ素材用の変換方法で映像を変換します。

HDMI 映像解像度

通常は [自動] を選んでください。ディスクに記録された解像度で出力するときは、[オリジナル解像度] を選んでください。解像度が SD 解像度より低い場合、SD 解像度にして出力されます。

BD-ROM 24p 出力

自動：1080/24p 対応のテレビに

HDMI 接続しているとき、
1920×1080p/24 Hz の映像信号
を出力します。

入：設定を実行します。

切：お使いのテレビが 1080/24p に
対応していないとき、この設定を
選んでください。

DVD-ROM 24p 出力

自動：1080/24p 対応のテレビに

HDMI 接続しているとき、
1920×1080p/24 Hz の映像信号
を出力します。

切：お使いのテレビが 1080/24p に
対応していないとき、この設定を
選んでください。

HDMI 映像出力フォーマット

自動：お使いのテレビの種類に応じ
て、自動で映像信号の色空間を設
定します。

YCbCr (4:2:2)：YCbCr 4:2:2 の映像
信号を出力します。

YCbCr (4:4:4)：YCbCr 4:4:4 の映像
信号を出力します。

RGB：RGB の映像信号を出力します。

一時停止モード

自動：通常はこの設定にしてくださ
い。動きの大きい被写体の映像が
ぶれずに表示されます。

フレーム：動きの少ない被写体の映
像が高い解像度で表示されます。

音声設定

HDMI 音声出力

自動：通常はこの設定にしてくださ
い。本機につないだ HDMI 機器
の状態に応じて、最適な音声信号
を出力します。

PCM：HDMI 出力端子から PCM 信
号を出力します。

BD 音声 MIX 設定

入：セカンダリーオーディオ（映画
の解説など）・インターラクティブ
オーディオ（効果音など）が含ま
れる BD を再生するとき、それら
を混合して出力します。

切：プライマリーオーディオのみ出
力します。AV アンプに HD 音声
信号をビットストリームで出力し
たいとき、この設定を選んでくだ
さい。

DTS Neo:6

シネマ：DTS Neo:6 シネマモードで、2 チャンネルの音源から、擬似的にマルチチャンネル信号をつくりだして、HDMI 出力端子から出力します。マルチチャンネル入力に対応した機器につないでいるとき、この設定が有効です。

ミュージック：DTS Neo:6 ミュージックモードで、2 チャンネルの音源から、擬似的にマルチチャンネル信号をつくりだして、HDMI 出力端子から出力します。マルチチャンネル入力に対応した機器につないでいるとき、この設定が有効です。

切：元の音源と同じチャンネル数の信号を、HDMI 出力端子から出力します。

オーディオ DRC

自動：ディスクによって定められたダイナミックレンジで再生します（BD-ROM のみ）。他のディスクの場合、[入] と同じ音になります。

入：標準的な音になります。

切：迫力のある音になります。

ダウンミックス

サラウンド：サラウンド効果のかかった音声信号を出力します。ドルビーサラウンド（プロロジック）^{*1} または DTS Neo:6^{*2} 対応のオーディオ機器につないでいるとき、この設定を選んでください。

ステレオ：サラウンド効果のかかっていない音声信号を出力します。ドルビーサラウンド（プロロジック）または DTS Neo:6 に対応していないオーディオ機器につないでいるとき、この設定を選んでください。

^{*1} ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

Dolby、ドルビー、ProLogic 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

^{*2} DTS、DTS-HD は DTS, Inc. の登録商標です。そして、DTS-HD Master Audio は DTS, Inc. の商標です。

For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, DTS-HD, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS-HD Master Audio is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

BD/DVD 視聴設定

BD/DVD メニュー言語

BD-ROM/DVD ビデオメニューに表示する言語を設定します。
[言語コード指定] を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(50 ページ) を参照して、言語コードを入力してください。

音声言語

BD-ROM や DVD ビデオ再生時の音声の言語を設定します。
[オリジナル] を選ぶとディスクに記録されている優先言語が選ばれます。
[言語コード指定] を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(50 ページ) を参照して、言語コードを入力してください。

字幕言語

BD-ROM や DVD ビデオに記録されている字幕の言語を設定します。
[言語コード指定] を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(50 ページ) を参照して、言語コードを入力してください。

BD ハイブリッドディスク再生層

BD : BD 層を再生します。

DVD/CD : DVD 層または CD 層を再生します。

BD インターネット接続

許可する : 通常はこの設定にしてください。

許可しない : インターネット接続を禁止します。

視聴年齢制限設定

暗証番号設定

視聴制限のための暗証番号を設定または変更できます。暗証番号を設定すると、視聴制限がある BD-ROM または DVD ビデオの視聴や再生を制限できます。必要に応じて、BD-ROM または DVD ビデオに、違う制限レベルを設定できます。

視聴年齢制限使用地域

BD-ROM または DVD ビデオには、住んでいる国や地域によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4 行の暗証番号を入力してください。

BD 視聴年齢制限

BD-ROM には、見る人の年齢によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンを

カットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4桁の暗証番号を入力してください。

DVD 視聴年齢制限

DVD ビデオには、見る人の年齢によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4桁の暗証番号を入力してください。



本体設定

HDMI 機器制御

入：以下のブラビアリンクの機能が使えます。

- ワンタッチプレイ
- 電源オフ連動

切：HDMI 機器制御による相互制御ができません。

ちょっと一言

テレビやその他の機器の設定について詳しくは、テレビや機器の取扱説明書をご覧ください。

HDMI 機器制御 テレビ電源切連動

入：つないだテレビがスタンバイ状態になると、本機および HDMI 対応機器の電源も自動的に切れます（ブラビアリンク）。

切：電源は自動的に切れません。

自動電源オフ

入：何も操作されないまま 30 分が経過すると、自動的にスタンバイ状態になります。

切：電源は自動的に切れません。

ご注意

データファイルの一時停止中は、自動的にスタンバイ状態にはなりません。

自動画面表示

入：タイトルが変わるときや、映像モードや音声信号が変わるときに画面上でその情報を自動的に表示します。

切：画面表示ボタンが押されたときのみ、情報を表示します。

スクリーンセーバー

入：ホームメニューなど再生映像以外の画面を表示しているとき、何も操作されないまま 10 分が経過すると、画面保護のためスクリーンセーバーを表示します。

切：スクリーンセーバーを表示しません。

ソフトウェアアップデート通知

入：ソフトウェアの更新情報をお知らせします（33 ページ）。

切：ソフトウェアの更新情報をお知らせしません。

本体情報

本機のソフトウェアのバージョンと、MAC アドレスを確認できます。

ソフトウェアライセンス

本製品に使われているソフトウェア
使用許諾契約を表示します。

通信設定

ネットワーク設定

前もって LAN ケーブルをつないでください。詳しくは、「ネットワークにつなぐ」(18 ページ) をご覧ください。

接続状態を確認する：現在のネットワークの状態を表示します。

有線 LAN 設定：ネットワークを利用するための設定をします。

ネットワーク接続診断

ネットワークに正しくつながっているか、接続診断をします。

設定初期化

お買い上げ時の状態に設定

各設定ごとにお買い上げ時の設定に戻します。選んだ設定のすべての項目がお買い上げ時の設定に戻るので、ご注意ください。

困ったときは

故障かな？と思ったら

本機を使用しているときに以下のような症状が起きたら、修理に出す前にこの項を参考にして点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口（裏表紙）へお問い合わせください。

電源

電源が入らない。

- ▶ AC アダプターがしっかりと差し込まれているか確認してください（16 ページ）。
- ▶ バッテリーが充電されているか確認してください（16 ページ）。
- ▶ 電源スイッチを切の方向にスライドし、1 分間経過してからもう一度電源を入れてください。

リモコンの電源ボタンを押しても電源が入らない。

- ▶ 電源スイッチが切に設定されています。電源スイッチを入 / スタンバイの方向にスライドしてください。

バッテリーが充電されない、充電に時間がかかる。

- ▶ 極端に寒い所や暑い所では、AC アダプターをつないでいても充電ランプが点滅することがあります。周囲の温度が 5 ℃～35 ℃ の環境で充電してください。
- ▶ テレビを視聴しながら充電することはできません。また、ディスクを再生しながら充電すると充電に時間がかかります。電源を切ってから充電してください。
- ▶ 本機を 1 年以上使用していなかった場合、電池の劣化の可能性があります。ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

映像

映像が出ない。

- ▶ HDMI ケーブルをつなぐと、本機の液晶画面に映像は出力されません。本機の液晶画面で楽しむには、HDMI ケーブルを抜いてください。

3D の映像が見られない。

- ▶ 本機の液晶画面は 3D 対応ではありません。3D の映像を楽しむときは、3D 対応のテレビなどにつなぎ、設定を行ってください（19 ページ）。

液晶画面に黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えない。

- ▶ 液晶画面の性質上発生するものであり、故障ではありません。

音声

音が出ない。

- ◆ 次のときは、音は出ません。
 - 一時停止中
 - スロー再生中
 - 早送り再生中または早戻し再生中
- ◆ HDMI ケーブルをつなぐと、本機のスピーカーおよびヘッドホンから音声は出力されません。本機のスピーカーおよびヘッドホンで楽しむには、HDMI ケーブルを抜いてください。

サウンド設定が効かない。

- ◆ 再生する音声の方式によっては効果が弱い場合があります。
- ◆ テレビ視聴時はサウンド設定を選べません。

ヘッドホンから音が出ない、乱れる。

- ◆ ステレオミニプラグのヘッドホンをつないでいるか確認してください。ステレオミニプラグとは、プラグに 2 本の溝が切ってあるプラグです。

ディスク

ディスクを再生できない。

- ◆ ディスクが汚れていないか、または歪んでいないか確認してください。
- ◆ カチッと音がするまでディスクがはめ込まれているか確認してください
(20 ページ)。

◆ ディスクが裏返しに入っていないか確認してください。再生面を下にしてください。

◆ 本機で再生できるフォーマットのディスクか確認してください (46 ページ)。

◆ 他機で録画された DVD ディスクを再生するときは、正しくファイナライズされているか確認してください。

◆ BD や DVD の地域番号 (リージョンコード) が本機で再生できる番号か確認してください (47 ページ)。

◆ テレビ視聴中に ▶ (再生) ボタンを押してもディスクを再生できません。ディスクを再生したいときは、ホームボタンを押してください。

ディスクの回転が止まらない。

- ◆ ■ (停止) ボタンを押しただけでは、ディスクの回転は止まりません。
- ◆ ディスクぶたを開けてからディスクの回転が完全に止まるまでに時間がかかります。

その他

再生までに時間がかかる。

- ◆ ディスクによっては、再生開始までに時間がかかります。

再生が最初から始まらない。

- ◆ オプションボタンを押して、[始めから再生] を選んでください。

再生が前回停止した位置から始まらない。

- ▶ 以下の場合、ディスクによってはつづき再生が解除されます。
 - ディスクぶたを開けたとき
 - USB 機器を取りはずしたとき
 - ほかのコンテンツを再生したとき
 - 本機の電源を切ったとき
 - [設定] で本機の設定を変更したとき
- ▶ ディスクによっては、つづき再生できないものもあります。

操作ボタンが動かない。

- ▶ ホールド機能が設定されています。機能を解除するには、本体のホールドボタンを 2 秒以上押してください。
- ▶ 本機の内部が結露していることがあります。結露がなくなるまで、そのまま放置してください（6 ページ）。
- ▶ 電源スイッチを切の方向にスライドし、1 分間経過してからもう一度電源を入れてください。

リモコンで操作できない。

- ▶ リモコンの電池が消耗していたら交換してください。
- ▶  (リモコン受光部) に向けて操作してください。

USB 機器

つながれた USB 機器が認識されない。

- ▶ USB 機器が正しく USB 端子につながれているか確認してください。
- ▶ USB 機器またはケーブルの端子が傷んでいないか確認してください。
- ▶ USB 機器の電源が入っているか確認してください。
- ▶ USB ハブを通して USB 機器をつないでいる場合、本機に直接 USB 機器をつないでみてください。

テレビ

テレビの映像が映らない。

- ▶ miniB-CAS カードが入っているか確認してください（15 ページ）。
- ▶ 本機はホイップアンテナとカバーに内蔵されたアンテナの 2 種類のアンテナを使用しています。以下の方法で 2 種類のアンテナを調整してください。
 - ホイップアンテナをのばして、長さや角度を変えてください。
 - スタンドを立てて、本体の向きを変えてください。
- ▶ 屋内で使用すると受信しにくい場合があります。窓際や屋上など電波を受信しやすいところで使用してください。室内でご使用の場合は、アンテナ線と本機をつなぐことをおすすめします（28 ページ）。
- ▶ 金属製の机や台の上に設置していないか確認してください。電波を受信しや

すいところへ設置場所を移動してください。

- ◆ 電波塔が近くにないか確認してください。電波塔から発信される強い電波の影響を受ける場合があるので、アンテナを縮めてください。
- ◆ テレビを視聴する環境が変わった場合（場所を移動した、アンテナ線をつないだ、など）は、チャンネルを再設定してください（29 ページ）。
- ◆ 地上デジタル放送のエリア内であっても、地形や建物などで電波がさえぎられる場所や電波の弱い場所、トンネル・地下・建物の中など電波の届かない場所では、受信できないことがあります。
- ◆ 放送エリアの境界近くでご使用の場合、気象条件等の周辺環境により受信状態が変動し、受信できないことがあります。

テレビの映像がきれいに映らない。 画質が急に悪くなった。

- ◆ 本機は地上デジタル放送の受信状態が悪い場合、自動的にワンセグ放送に切り換わります。ワンセグは画面が小さい携帯端末用の放送サービスのため、本機では画像が粗く感じられることがあります。
- ◆ 本機は受信状態により地デジとワンセグを自動で切り替えます。自動で切り換えたくない場合は、【受信切換】で [地デジ] または [ワンセグ] に設定してください（30 ページ）。

ネットワーク接続

本機がネットワークにつながらない。

- ◆ ネットワークの接続を確認し（18 ページ）、設定を確認してください（39 ページ）。

本機の電源を入れると、ネットワークアップデートを促すメッセージが表示される。

- ◆ 新しいソフトウェアバージョンに更新するため、「ネットワークアップデート」（33 ページ）をご覧ください。

接続

接続した機器から映像や音声が出ない、乱れる。

- ◆ 接続ケーブルのプラグがしっかりと差し込まれているか確認してください。
- ◆ テレビを本機につないでいる入力に切り換えてください。
- ◆ 以下を試してください。① 本機の電源を切り、もう一度電源を入れてください。② 接続機器の電源を切り、もう一度電源を入れてください。③ HDMI ケーブルを抜き、もう一度差し込んでください。
- ◆ DVI 機器とつないでいないか確認してください。
- ◆ 【映像設定】の【HDMI 映像解像度】の設定が正しいか確認してください（34 ページ）。
- ◆ BD-ROM を再生しているときは、【映像設定】の【BD-ROM 24p 出力】の

設定が正しいか確認してください
(35 ページ)。

- ▶ HDMI 出力端子につないでいる機器が、本機の音声フォーマットに対応しているか確認してください。本機の音声設定を確認してください (35 ページ)。
- ▶ 本機で受信したテレビ放送が接続した機器で見られないときは、[視聴設定] の [HDMI 設定] が正しいか確認してください (31 ページ)。

サウンド設定が切り換えられない。

- ▶ サウンド設定の切り換えは、本機のスピーカーおよびヘッドホン端子から出力される音声に対してのみ有効です。HDMI 出力端子から出力される音声は切り換えることができません。

- 接続機器が [HDMI 機器制御] 機能に対応している。
- 接続機器の [HDMI 機器制御] 機能の設定が正しい。

- ▶ テレビ視聴のときは、ブリッジリンク (HDMI 機器制御) に対応していません。

電源オフ連動が機能しない (ブリッジリンク)。

- ▶ [HDMI 機器制御] または [HDMI 機器制御 テレビ電源切連動] が [入] に設定されているか確認してください (38 ページ)。

ブリッジリンク (HDMI 機器制御)

[HDMI 機器制御] 機能が働かない (ブリッジリンク)。

- ▶ [HDMI 機器制御] が [入] になっているか確認してください (38 ページ)。
- ▶ HDMI 接続を変更したときは、本機の電源を切り、もう一度電源を入れてください。
- ▶ 停電があったときは、[HDMI 機器制御] を一度 [切] にし、その後 [入] に再設定してください (38 ページ)。
- ▶ 以下を確認し、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

その他

主な仕様

システム

形式：ブルーレイディスク /DVD プレーヤー

受信チャンネル：地上デジタル放送
UHF13～62ch (データ放送およびCATVのトランスモジュレーション方式 / 周波数変換パススルー方式は非対応)

入力／出力端子

ヘッドホン端子：

ステレオミニジャック

USB 端子：

A タイプ、最大電流 500 mA (USB メモリー、メモリーカードリーダー、デジタルスチルカメラ、およびデジタルビデオカメラ接続用)

HDMI 出力端子：

19 ピン標準コネクター

LAN(100) 端子：

100BASE-TX

地上 D 外部アンテナ端子：

ミニジャック

液晶画面

パネルサイズ：10.1 インチ (対角)

駆動方式：TFT アクティブ・マトリックス

解像度：1366×768

電源・その他

電源：

DC 12 V 1.5 A (AC アダプター / カーライブアダプター)

消費電力：

8.5 W (ヘッドホン使用時および BD-ROM 再生時)

最大外形寸法：

約 263 mm×210 mm×34 mm
(幅 × 奥行き × 高さ) 最大突起含む

本体質量：

約 1.60 kg

許容動作温度：

5 ℃～35 ℃

許容動作湿度：

25%～80%

AC アダプター：AC 100-240 V、
50/60 Hz

カーライブアダプター：DC 12 V

付属品

「付属品を確認する」(15 ページ) をご覧ください。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

再生できるディスク

BD ^{*1}	BD-ROM BD-R ^{*2} /BD-RE ^{*2}
DVD ^{*3}	DVD-ROM DVD-R/DVD-RW DVD+R/DVD+RW
CD ^{*3}	CD-DA (音楽 CD) CD-ROM CD-R/CD-RW

^{*1} BD は新しい規格で日々進化を続けていため、ディスクの種類やバージョンによっては再生できない場合があります。

音源や出力端子、音声設定などにより出力される音質が異なります。

^{*2} 本製品は Ver.2.1 の BD-RE、Ver.1.1、Ver.1.2 および Ver.1.3 の BD-R (LTH を含む) に対応しています。

パソコンで記録した BD-R を本機で再生するには、追記不可能な状態で書き込まれている必要があります。

^{*3} レコーダーやパソコンで記録した CD または DVD を本機で再生するには、終了情報を記録するファイナライズ処理が必要です。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をご覧ください。

再生できないディスク

- カートリッジ型 BD
- BDXL
- AVCREC 方式や HD Rec 規格で記録された DVD
- DVD-RAM
- HD DVD
- DVD オーディオ
- フォト CD

- CD EXTRA のデータ部分
- VCD／スーパー VCD
- スーパーオーディオ CD の HD 層
- DualDisc の音楽専用面
- 本機の映像方式 (NTSC) と異なる映像方式 (PAL など) で記録されたディスク

ディスクについてのご注意

本機は、コンパクトディスク (CD) 規格に準拠したディスクの再生を前提として設計されています。DualDisc 及び著作権保護技術を採用する一部の音楽ディスクはコンパクトディスク (CD) 規格に準拠していないことから、本製品では再生できない場合があります。

BD/DVD 再生時の操作について

BD/DVD 再生時の操作は、ソフトウェアで決められている場合があります。本機は BD/DVD のソフトウェアにしたがって再生するため、いくつかの機能が使えないことがあります。

2層 BD や 2層 DVD の再生について

レイヤー (層) が切り換わるときに映像および音声が一瞬途切れことがあります。

リージョンコードについて（BD-ROM/DVDビデオのみ）

著作権保護を目的に設けられた制度です。市販の BD-ROM および DVD ビデオのパッケージには販売地域によって、地域番号が表示されています。

地域番号に「A」が含まれる BD-ROM は本機で再生可能です。



地域番号に「ALL」または「2」が含まれる DVD ビデオは本機で再生可能です。



再生できるファイルの種類

ビデオ

フォーマット	拡張子
MPEG-1 Video/ PS ^{*1}	「.mpg」、 「.mpeg」、
MPEG-2 Video/ PS、TS ^{*1}	「.m2ts」、 「.mts」
MPEG-4 AVC ^{*1}	「.mkv」、「.mp4」、 「.m4v」、「.m2ts」、 「.mts」
WMV9 ^{*1}	「.wmv」、「.asf」
AVCHD ^{*2}	^{*3}
Xvid	「.avi」

ミュージック

フォーマット	拡張子
MP3 (MPEG-1 Audio Layer III)	「.mp3」

フォーマット	拡張子
AAC/ HE-AAC ^{*1*4}	「.m4a」
WMA9 Standard ^{*1*4}	「.wma」
LPCM	「.wav」

フォト

フォーマット	拡張子
JPEG	「.jpg」、「jpeg」
PNG	「.png」 ^{*5}
GIF	「.gif」 ^{*5}
MPO	「.mpo」 ^{*6}

^{*1} デジタル著作権管理（DRM）などで保護されたファイルは再生できません。

^{*2} 本機はAVCHD規格Ver.2.0の映像を再生できます。

^{*3} 本機はデジタルビデオカメラなどで記録された AVCHD 規格の映像を再生できます。AVCHD 規格で記録されたディスクを再生するには、正しくファイルライズ処理がされていることが必要です。

^{*4} ロスレスなどでエンコードされたファイルは再生できません。

^{*5} アニメーション PNG やアニメーション GIF ファイルは再生できません。

^{*6} 3D以外のMPOファイルは主画像または最初の画像が表示されます。

ご注意

- ファイルのフォーマットや圧縮状況、録画状態によって再生できないことがあります。
- パソコンで記録または編集したファイルは再生できないことがあります。
- 本機は BD/DVD/CD または USB 機器内の、以下のファイルおよびフォルダーを認識します。

- 8階層目までのフォルダー
 - 1つの階層にある500番目までのファイル
- ファイルやフォルダーの数は状況によって異なります。

- USB機器によっては、本機で再生できないことがあります。
- 本機は、フラッシュメモリーなどのマスストレージクラス(MSC)機器、静止画像キャプチャデバイスクラス(SICD)機器を認識します。
- データの破損や消滅を防ぐために、USBメモリーやUSB機器を抜き差しするときは、本機の電源を切ってください。
- データCD上の高ビットレートのビデオファイルは、なめらかに再生できないことがあります。データDVDまたはデータBD上で再生することをおすすめします。



ディスクの取り扱いについて

- 再生面に手を触れないように持ちます。
- 
- 直射日光が当る所など温度の高い所、湿度の高い所、直射日光が当たって高温になった車内には置かないでください。
 - ケースに入れて保存してください。
 - 柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- ラベル印刷したディスクは印刷が乾いてからお使いください。
- 次のようなディスクは使用できません。
 - 円形以外の特殊な形状(カード型、ハート型、星型など)をしたディスク
 - 紙やシールの貼られたディスク
 - セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク

著作権／商標について

- 本機は、無許諾のBD/DVD(海賊版等)の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。
- “AVCHD”および“AVCHD/3D Progressive”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連のマークは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における商標または登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標である場合があります。
- “⊕”、“xross media bar”および“XMB”は、ソニー株式会社および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。
- HDMI®、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標もしく

は米国およびその他の国における登録商標です。

- Blu-ray Disc™、Blu-ray™、Blu-ray 3D™、BD-LIVE™、BONUSVIEW™、及びロゴは Blu-ray Disc Association の商標です。
- “DVD ロゴ”は DVD フォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- “ブラビアリンク”および“BRAVIA Link™”は、ソニー株式会社の商標です。
- “ブラビア プレミアムフォト”および“ブラビアプレミアムフォト”は、ソニー株式会社の商標です。
- 本機は Fraunhofer IIS および Thomson の MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- この製品は Verance Corporation（ベルアンス・コーポレーション）のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第 7,369,677 号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。
Cinavia は Verance Corporation の商標です。Copyright 2004-2010 Verance Corporation. すべての権利は Verance が保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。
- Windows Media は米国および／またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。
本製品は Microsoft の知的財産権により保護されています。Microsoft や正規 Microsoft 販売代理店から使用許諾を得ることなく、このような技術を本製品以外で使用または頒布することは禁じられています。

• 本製品に搭載されているフォントの内、新ゴ R、新丸ゴ R の各書体は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の登録商標または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。

- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では ™、® マークは省略している場合があります。
- 本書で使われている画面イラスト内の番組名は一例であり、実際の放送局での放送内容や実際の人物、地名などと関係ありません。

言語コード一覧

詳しくは、「BD/DVD 視聴設定」(37 ページ) をご覧ください。

言語名表記は ISO639 : 1988 (E/F) に準拠しています。

コード 言語

1027	Afar	1028	Abkhazian
1032	Afrikaans	1039	Amharic
1044	Arabic	1045	Assamese
1051	Aymara	1052	Azerbaijani
1053	Bashkir	1057	Byelorussian
1059	Bulgarian	1060	Bihari
1061	Bislama	1066	Bengali
1067	Tibetan	1070	Breton
1079	Catalan	1093	Corsican
1097	Czech	1103	Welsh
1105	Danish	1109	German
1130	Bhutani; Dzongkha	1142	Greek
1144	English	1145	Esperanto
1149	Spanish	1150	Estonian
1151	Basque	1157	Persian
1165	Finnish	1166	Fiji
1171	Faroese	1174	French
1181	Frisian	1183	Irish
1186	Scots Gaelic	1194	Galician
1196	Guarani	1203	Gujarati
1209	Hausa	1217	Hindi
1226	Croatian	1229	Hungarian
1233	Armenian	1235	Interlingua
1239	Interlingue	1245	Inupiak
1248	Indonesian	1253	Icelandic
1254	Italian	1257	Hebrew
1261	Japanese	1269	Yiddish
1283	Javanese	1287	Georgian
1297	Kazakh	1298	Greenlandic; Kalaallisut
1299	Cambodian; Khmer	1300	Kannada
1301	Korean	1305	Kashmiri
1307	Kurdish	1311	Kirghiz
1313	Latin	1326	Lingala
1327	Laothian; Lao	1332	Lithuanian
1334	Latvian	1345	Malagasy
1347	Maori	1349	Macedonian
1350	Malayalam	1352	Mongolian

コード 言語

1353	Moldavian	1356	Marathi
1357	Malay	1358	Malese; Maltese
1363	Burmese	1365	Nauru
1369	Nepali	1376	Dutch
1379	Norwegian	1393	Occitan
1403	Oromo	1408	Oriya
1417	Punjabi; Panjabi	1428	Polish
1435	Pashto; Pushto	1436	Portuguese
1463	Quechua	1481	Rhaeto-Romance
1482	Kirundi; Rundi	1483	Romanian
1489	Russian	1491	Kinyarwanda
1495	Sanskrit	1498	Sindhi
1501	Sangho; Sango	1502	Serbo-Croatian
1503	Sinhalese; Sinhalese	1505	Slovak
1506	Slovenian	1507	Samoan
1508	Shona	1509	Somali
1511	Albanian	1512	Serbian
1513	Siswati; Swati	1514	Sesotho; Sotho southern
1515	Sundanese	1516	Swedish
1517	Swahili	1521	Tamil
1525	Telugu	1527	Tajik
1528	Thai	1529	Tigrinya
1531	Turkmen	1532	Tagalog
1534	Setswana; Tswana	1535	Tonga; Tonga islands
1538	Turkish	1539	Tsonga
1540	Tatar	1543	Twi
1557	Ukrainian	1564	Urdu
1572	Uzbek	1581	Vietnamese
1587	Volapük	1613	Wolof
1632	Xhosa	1665	Yoruba
1684	Chinese	1697	Zulu
1703	無指定		

地域コード一覧

詳しくは、「視聴年齢制限使用地域」
(37 ページ) をご覧ください。

コード 地域

2044	Argentina	2047	Australia
2046	Austria	2057	Belgium
2070	Brazil	2090	Chile
2092	China	2093	Colombia
2115	Denmark	2165	Finland
2174	France	2109	Germany
2200	Greece	2219	Hong Kong
2248	India	2238	Indonesia
2239	Ireland	2254	Italy
2276	Japan	2304	Korea
2333	Luxembourg	2363	Malaysia
2362	Mexico	2376	Netherlands
2390	New Zealand	2379	Norway
2427	Pakistan	2424	Philippines
2428	Poland	2436	Portugal
2489	Russia	2501	Singapore
2149	Spain	2499	Sweden
2086	Switzerland	2543	Taiwan
2528	Thailand	2184	United Kingdom

その他

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 記録内容（コンテンツ）については、保証の対象外です。
- 当社にて記録内容（コンテンツ）の修復、復元、複製などは行いません。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合が悪いときはソニーの相談窓口へ

ソニーの相談窓口（裏表紙）へご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 型名：BDP-Z1
- 再生していたディスクのタイトル名

- 再生していたディスクの種類：BD-ROM、DVD ビデオ、BD-RE、BD-R、DVD-RW、DVD-R など
- つないでいるテレビのメーカーと型名
- 購入年月日
- お買上げ店

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではポータブルブルーレイディスク /DVD プレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低 6 年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

本機を廃棄するときのご注意



本機に内蔵されている充電式電池は、リサイクルできます。

廃棄する場合は、一般ごみとして廃棄せず、地方自治体の条例などに従って処分してください。

リサイクルにご協力いただける場合は、充電式電池の取りはずしをお客様自身では行わず、ソニーの相談窓口（裏表紙）にご相談ください。

索引

あ行

- アンテナをつなぐ 28
- 映像設定 34
- オプション 12、23、30
- 音声切換 13、24、30、32
- 音声設定 35

か行

- 海外での使用について 7
- 画面表示 12、22、28
- 画面モード 23、30、34
- カラーボタン 13
- かんたん設定 25
- 乾電池 15
- 故障かな?と思ったら 40

さ行

- 再生情報の表示 22
- 再生できるディスク 46
- サウンド設定 23
- 視聴設定 31
- 視聴年齢制限設定 37
- 自動スキャン 29
- 字幕切換 13、24、30、32
- 充電時間と使用時間 17
- 受信切換 27、30

- 受信状態がよくないと
きは 27
- 手動スキャン 29
- 設定 33
- 設定初期化 31、39

た行

- 地域スキャン 29
- チャンネル一覧 27
- 通信設定 39
- つづき再生 11、42
- テレビ設定 30
- テレビの情報の表示 28
- トップメニュー 13
- ドルビー 36

な行

- ネットワークアップ
- データ 33

は行

- バッテリーの残量確認 17
- 番組表 30
- ビットストリーム 35
- ブラビアリンク 44
- 放送サービスに関するお問い合わせ 26
- 放送受信設定 32
- ポップアップ／メニュー 12、27
- 本体設定 31、38
- ホーム 12
- ホームメニュー 14
- ホールド 12

ら行

- リモコン 13、15
- リージョンコード 47

アルファベット

- BD 46
- BD-LIVE 21
- BD-R 46
- BD-RE 46
- BD/DVD 視聴設定 37
- Blu-ray 3D 21
- BONUSVIEW 21
- CD 46
- DTS 36
- DVD 46
- HDMI 31、34、35、38
- MAC アドレス 38
- miniB-CAS カード 15
- USB 22、45

ブルーレイディスク /DVD プレーヤー ホームページ

本機に関するさまざまな情報を確認できます。

操作情報などについて知りたいときは、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.sony.jp/portable-player/>

本体ソフトウェアのアップデートについて

本体ソフトウェアは、機能向上のため、アップデートされる可能性があります。

アップデートの情報については、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.sony.jp/support/portable-player/>

「Q&A」 ホームページ

お客様からよくあるお問い合わせと解決法に関する情報を、以下のホームページで確認できます。

<http://www.sony.jp/support/portable-player/>

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話 050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話 050-3754-9599
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「103」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。



ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

AVCHD™
3D/Progressive

HDMI

BD LIVE™

Blu-ray 3D™

DVD
VIDEO

**COMPACT
DISC**
DIGITAL AUDIO



BRAVIA Link

BRAVIA
プレミアム・フォト

Java
POWERED



* 1 - 4 4 7 2 0 0 2 0 1 V *